

第1回長南町立小学校跡地活用検討委員会 会議概要

開催日時 平成28年8月25日(木) 13時30分から

場 所 庁舎分館第1会議室

出席者 (委員)

川口委員、石井委員、手嶋委員、松崎委員、御園生委員、岩瀬委員、
小橋委員、向井委員、嶋野委員、栗原委員、安田委員

(オブザーバー)

長生地域振興事務所長 企画係 山本係長

(町)

町長

事務局：企画政策課 田中課長、三十尾課長補佐、渡邊主査

(欠席委員) 7人

(傍聴者) 3人

会議の概要

○ 開会、委嘱状交付、委員紹介

第1回の検討委員会開催にあたり、町長から委嘱状を交付した後、各委員が自己紹介をした。

○ 町長あいさつ

検討にあたっては、町の財政状況や住民の声を踏まえて、町の発展に繋がる活用方法を様々な視点から検討していただきたいという趣旨の挨拶があった。

○ 会長及び副会長選任

委員からの立候補または推薦はなし。事務局に一任との声あり。

事務局から、会長に小橋委員、副会長に手嶋委員を推薦し、異議なし。

事務局(案)のとおり決定。

○ 小学校跡地活用検討に関する経緯

今後の小学校跡地活用に関する議論に先立ち、事務局から、これまでの経緯について説明。

- 平成26年11月に、役場職員で構成する「長南町立小学校跡地活用庁内検討会議」を設置し、平成27年7月に、学校ごとに活用基本方針と具体例を示した「検討結果報告書」作成し町長へ報告した。※この報告書は今後の検討において基礎資料として活用したい。
- 平成27年秋に学校法人タイケン学園の進出計画が浮上し、平成28年4月の臨時議会で、調査等関係経費を盛り込んだ補正予算案を提出。この議案は学校誘致特別委員会に付託され、6月定例議会の本会議で正式に否決され、タイケン学園の関係は終結した。
- 7月1日に「長南町立小学校跡地活用検討委員会設置要綱」を制定し、本日の会議に至る。
- その後の取り組みとして、文部科学省ホームページを活用した情報発信を行っている。

○ 今後の検討について

事務局から今後のスケジュール及び検討方法、先進地視察について提案があった。

【説明内容】

- ・年度内スケジュールとして、11月に先進地視察、12月及び翌年2月に会議を開催したい。
- ・現在、町内4小学校の情報を、文部科学省ホームページ「未来につなごう みんなの廃校プロジェクト」に掲載しており、いくつかの企業から問い合わせを受けている。
- ・今後の会議で企業から事業提案を聞き、メリット・デメリットを整理してまとめていきたい。

【委員からの意見等】

- ・跡地利用に関しては決め方のプロセスが重要。町民に結果だけお知らせするだけでは理解が得られない可能性もある。
- ・長南町の4小学校の立地条件をもっと情報発信する必要がある。
- ・委員会として活用方策を提案するにあたり、基本方針を立てなければ議論にならないと思うので、いくつかの論点・方針を決めてから絞っていくべき。
- ・手を挙げている企業はほかでも同じような物件を見ている可能性があるため、早い段階で対応したほうがよい。
- ・建物は老朽化して、1年経てば草だらけになってしまう。スピーディーに議論したい。

○ その他

今後の会議の公開について、跡地活用の方向付けが明確になり公開しても支障がないと認められるまでは非公開とすることを確認した。

(非公開理由)

今後の会議では、企業や事業を営む個人の名称、事業計画、資金関係などの事業者情報を取り扱うこととなり、計画段階の情報が公になることにより、事業者の利益を害する可能性がある。また、検討委員会の運営において公正・円滑な審議が阻害されることが懸念されるため。

(適用条文)

長南町附属機関等の設置及び運営等に関する指針第6条第1項1号(イ)及び同条同項第3号

■ 資料

- ・次第
- ・委員会名簿
- ・長南町立小学校跡地活用検討委員会設置要綱
- ・長南町附属機関等の設置及び運営等に関する指針
- ・長南町立小学校跡地活用検討委員会スケジュール(案)
- ・資料1(平成27年度長南町立小学校跡地活用庁内検討会議【検討結果報告書】)
- ・資料2(広報ちょうなん ふれあい通信)
- ・資料3(未来につなごう みんなの廃校プロジェクト パンフレット)
- ・資料4(視察候補地資料)